

熱き心で、会員拡大元年事業

■商店街の活性化は 個店の結集力

地域社会の活力の源は商店街であり、商店街の活性化は個店の結集力であり、その努力の成果は個店の繁盛という形で現れる。また、この循環の輪が大きくなればなるほど商売の機会も増えるものである。

しかし、会員の加入率が全県平均で八割に達していない状況ではなかなか思うような商店街活動ができない。昨年十二月には商店街の活性化を図るため神奈川県商店街活性化条例ができたが、条例は事業者の商店街への加入を強制するものではないことから商店街自身が努力をする必要があった。

■三段階の展開

県商連は全県をカバーする団体としてこの条例の施行を契機に今年を会員拡大元年と位置づけ、広域的な

事業展開を行う大型店、チェーン店等の企業に対してより一層の協力を得るための活動を開始したが、今回はその状況について報告するものである。

■第一段階の企業訪問をして

第一段階としてコンビニエンスストア、居酒屋、ファーストフード等のチェーン店企業を訪問して、商店街の現状とその事業活動を説明するとともに、企業からは商店街に対する要望、意見等を聞いた。

訪問での話の中では、加入依頼がない、熱意・説明が不足である、具体的な事業とそれに対する資金計画が不明確である、会費の商店街によるバラつき・使用道の質問、意見があり、また、会費を全県的に統一して欲しいとの要望もあった。これらの意見と昨年県商連が行った商店街実態調査とを対比してみると、市区

商連によって大型店、チェーン店の加入率が100%から30%と大きな差があり、年会費についても十万円以上から五千円未満までと極端な幅がある。

また、加入依頼については一回だけとの割合が四割を超えるのに対し四割以上の加入依頼については一割に満たないなど各商店街の取組みが如実に結果となってきており、広域的な事業展開の企業の話とも合致している。

今回加入依頼活動を行った企業からは商店街への加入について否定的な意見はなく、また、共に活性化に向けての活動を行う意欲も十分見られる。更に、自社の各店舗の加入について、商店街の依頼活動を積極的に支援することを約束する企業もあった。

■第二段階の加入促進依頼、アンケートの実施



県商連は、大型店などの賛助会員・推せん会社との交流会を開催

を、六月二十八日に神奈川県中小企業センター・多目的ホールで行った。最初に平成十九年度県商連事業報告を行い、その後各社の現状について様々な意見交換を行った。大型店、コンビニ、チェーン店の地域商店街への加入促進やその県商連の仲介などの要望が理事等か

らの要望も出された。場所づくり研究所(有)プレシスの福永順彦氏を招いて、「商店街と地域のあり方」大型店の地域貢献と商店街との共生」について講演をいただいた。

内容は次のようなことでした。問題が起きてからでは対応が遅く、最初から地域社会でネットワークを作っておくことが求められている。地域力は住民の参加意欲によって変わり、そのプロセスに関わることで地域の愛着が変わってくる。

第二段階としては、チェーンストア、ドラッグストア、ファミリーレストラン等の広域的な事業展開の企業に対して加入促進依頼及びアンケートを実施する。また、加入について消極的な企業等に対しても持続的な加入促進依頼を図っていくものである。

■第三段階は加入促進のためのマニュアル作成と地域的なワークショップ

第三段階として以上の協力依頼活動等の成果を踏まえ、加入促進のためのマニュアルを作成し地域的なワークショップを展開して具体的な加入促進の実績を上げていきたい。

相模大野北口商店会

商店会役員ほとんどが四十代という商店街が昨年五月誕生し、一年がかりで組織を整え、本格的な活動を開始した。

それは、相模原市の南の玄関口で、相模原市内で最も乗降客数が多い小田急線相模大野北口商店会である。もとより三十、四十代の若手が多い商店会で、三十代の役員も加わっていたが、二年がかりで一気に関わりを深めたそうである。区画整理事業で洗練された町並みが形成され、ハードは充実したが、商店街活動自体はまだ発展途上で、何ができるか試されている状況であるという。しかし、その熱意とパワーは並々たるものではない。今まで役員会や商店会の会合は集まりが悪かったが、今は非常に良く討議も活発だ。それは、「販促部」「広報部」「総務部」

いきいき商店街づくりフォーラム パネリストや参加者の発言

・異業種交流はそれぞれ専門知識があり、相互の情報交換や勉強会は役立つ。等に対しても持続的な加入促進依頼を図っていくものである。

・人のにぎわいが生じれば商店街が活性化するとはいえない。イベントでたくさん人がきても商店街の販促や普段の集客につながるという意識が必要である。

・活動をしている人たちの熱い想い、理念の発信がブランドをつくる。それが他にはない地域の魅力をつくる。

・地域を越えて、地域をつなぐイベントを実施したことや、地域で交流できるようになった。

・商店街が活性化するとはいえない。イベントでたくさん人がきても商店街の販促や普段の集客につながるという意識が必要である。

・活動は大変でメリットがあると言えないが、その達成感は大変に大きい。初めてその町を訪れた人の評価は商店街で決まることが多い。地域に対して商店街は重要なものだ。商店街と住民が一緒に

勤務年数10年以上の従業員さんを推薦してください。

県商連では、個店(物販・サービス・飲食等)の業績向上のために日々努力している商店従業員や商店街活性化のために日々努力している商店街役員を表彰しています。

表彰内容
①商店街役員
就任10年以上で商店街の活性化に尽力している方。
②商店従業員
勤務10年以上で商店の繁栄に貢献している方。
③事業者グループ
活動年数にかかわらず商店街活動やコミュニケーション活動で実績をあげたグループ・団体等。

事務局からのお知らせ

■商店街活性化事業研修会を開催します。
9月19日(金) 中小企業センター6階大研修室
講演「中心市街地の活性化支援」について

■各種調査報告書等販売、配布しています。
「商店街実態調査報告書」..... 1,000円
「消費者の視点から見た商店街・個店の活性化に関する研究」..... 無料
「平成20年度版中小企業者のための支援施策活用ガイド」..... 無料
DVD「あなたのお店をイキイキさせるPOPとチラシ集」..... 会員1,960円
DVD「あなたのお店でパッと作ってサッと貼れるPOP集」..... 会員1,960円

■中小企業神奈川県総決起大会が開催されます。
神奈川県商工会議所連合会から次のとおり連絡がありましたので、予め予定に組入れてくださるようお願いいたします。
日時 平成20年11月10日(月) 午後2時~4時
場所 横浜開港記念会館 横浜市中区本町1-6

就労を希望する高齢者に 各種講習会を実施しています

講習終了者の知識と技術を活用してください

管理業務 のお手伝い 駐車・駐輪場の管理 資料・在庫管理等	技能・軽作業 のお手伝い 植木の剪定・除草・清掃 機・障子張り・調理補助等	事務作業 のお手伝い 台帳整理・宛名書き 毛筆筆耕・パソコン入力等	サービス分野 のお手伝い 病人等の介護・手助け 福祉・家事援助等
---	---	---	--

お問合せは、地元のシルバー人材センター・生きがい事業団へ

(社)神奈川県シルバー人材センター連合会
TEL 045-633-5432 〒231-0026 横浜市中区寿町1-4
http://www.k-sjc.com

見えてくる 日本の暮らし 住まいがら

平成20年

住宅・土地 統計調査

10月1日

総務省統計局 神奈川県・市町村

大豆屋は茅ヶ崎市の南側で、茅ヶ崎駅と辻堂駅のちょうど真ん中に位置し、桜道通りに接する住宅街の中にある。

昭和六十一年六月に茅ヶ崎市富士見町に個人商店「大豆屋」として豆腐・揚げ類の製造販売を開始した。商いを豆腐屋に決めたのは、原料選べば加工販売まで一人で手がけることができることと大豆という豆からまったく違った形状の豆腐ができる変化が面白いと感じたからだという。

ここで販売している豆腐は豆の甘さが際立ち、非常に美味しいと定評がある。特に、神奈川県産津久井在来大豆のくみ上げ豆腐と特別栽培・農薬化学肥料不使用の青大豆のくみ上げ豆腐の甘さとそのクリーミーさは豆腐の概念を覆すような衝撃を与える。青大豆くみ上げ豆腐は「NKKKEI 2プラス」に掲載されているプロが選んだ全国お取り寄せ豆腐ランキングで六位入賞を果たしている。



全国に誇れる豆腐づくりを行い、地域ブランドづくりを進め、地域の魅力を高めたい

業当初から全部国産品一〇〇%を目指した商品づくりを行った。国産大豆一〇〇%の豆腐づくりはもろろんだが、凝固剤として国産にがりを一〇〇%使用するのには当時まだ塩が専売の中では非常に難しかったがそれをも伊豆大島の「海精にがり」を一〇〇%使用することで解決した。揚げ油も国産菜種油圧搾法のみを使用する。その他がももどきに使用する野菜なども国産品に限定し、生産者履歴がわかるものを使用するという徹底的なこだわりがあった。

昭和六十三年には、有限会社大豆屋として法人化し、共同購入グループ、自然食料品店への供給も軌道に乗せる。昭和六十四年には、懸案だったオカラ処理を伊勢原市の有機農業実践農家と提携し、全量堆肥化して農地に還元することに成功した。その結果、生産物である有機野菜販売を着想し、平成三年に現所在地出口町に移転した際に、豆腐製造設備の充実を図ると共に、無農薬野菜をはじめ無添加加工品の販売を開始する。また、平成八年から

「茅ヶ崎市は消費者運動が盛んな地域であったことに助けられた」と語る蓮見さん。販売は店での直販と流通会社への卸を行い、店の直売では「大豆屋カード」を作成し、会員登録を行っている。そのバーコードを読みとって、会員割引サービスを行い、中元とセール時期にダイレクトメールを送っている。これによって、店を訪れる人が増えてきた。季節のメリハリがなくなってきた中で、豆腐のギフトセット販売が売れるとは思えなかったが、開始するといいかげん好調な売れ行きを得、全国に向けて販売している。

平成十八年に神奈川県在来種大豆「津久井在来」の存在を知った。この大豆「津久井在来」は、甘みが多く味が濃いため、注目を集めていたが細々と栽培され、「幻の大豆」と呼ばれていた。「津久井在来」一〇〇%豆腐の試食会を行い、試食会に訪れた人々から生産者の情報を得ながら、「作付け直前交流会」等を経て、県内生産者の拡大を図り、県内に点在する生産農家に直接出向き原料を確保している。それと同時に全国の在来種大豆の豆腐加工の試作、商品化を始めた。平成十九年からは、津久井在来のくみ上げ豆腐を数量限定で連日製造を開始した。

このように、こだわりの豆腐づくりに挑戦を続けている。大豆はタンパク質成分と糖度が反比例し、豆腐は大豆のタンパク質成分が強いほど固まりやすく作りやすいという。青大豆も本来豆腐にしないものだったという。しかし、蓮見さんは大豆の個性を引き出すことが仕事と考え、豆腐づくりに日々精進している。

農家の人と話していると様々な発見があり、直接買い付けに行くのは楽しいが、農業政策の立ち後れもあり、農業は非常に厳しい状況にあるので、「大豆のオーナー制度」等の消費者が生産現場を見られ、交流ができる仕組みを作り、神奈川の農業を応援したい。そして、県内の在来種を使った豆腐を県内で販売し、地産地消を進めたい。また、全国に誇れる豆腐づくりを行い、地域ブランドづくりを進め、地域の魅力を高めたいと蓮見さんは考えている。



有限会社 大豆屋 〈茅ヶ崎市〉

今、個店は苦戦を強いられている。大型店、ディスカウントショップ、コンビニ、通信販売、インターネットショップなどが、規模と組織力、安価販売でせめぎ合っている。そんななかで個店が対抗していくためには、お客様にとっての魅力ある店、地域の魅力づくりを一役担う店として力をつけていく必要がある。豆腐屋業界も同じ事がいえる。大豆をはじめ原料に徹底的にこだわることで、店の魅力を際立たせ、神奈川の農業を応援しながら、全国に誇れる豆腐づくり、地域ブランドづくりを進めているお店を取材した。お店のこだわりや販売の工夫などについて話を伺った。

●販売の工夫

「茅ヶ崎市は消費者運動が盛んな地域であったことに助けられた」と語る蓮見さん。販売は店での直販と流通会社への卸を行い、店の直売では「大豆屋カード」を作成し、会員登録を行っている。そのバーコードを読みとって、会員割引サービスを行い、中元とセール時期にダイレクトメールを送っている。これによって、店を訪れる人が増えてきた。季節のメリハリがなくなってきた中で、豆腐のギフトセット販売が売れるとは思えなかったが、開始するといいかげん好調な売れ行きを得、全国に向けて販売している。

Data

有限会社 大豆屋

(豆腐・揚げ類の製造販売、食品の販売)

住所：茅ヶ崎市出口町12-3
電話番号：0467-85-5316
創業：昭和61年
営業時間：10:00～18:00
(祝祭日は17:30まで)
定休日：日曜日
HP：http://www.daizuya.co.jp/

商店街・個店ホームページ 研修(応用編)参加者募集

日時：9月26日(金)・30日(火)・10月2日(木)・8日(水)・9日(木)・17日(金)
いずれも19:00～22:00
会場：岩崎学園2号館
(JR横浜駅きた西口より徒歩1分)
費用：2,000円
定員：20名(定員になり次第締め切り)
問合せ：県商連事務局
電話かFAXでご連絡ください
TEL：045-633-5184
FAX：045-633-5185

地域情報伝言板

みなさんからいただいた地域の情報を紹介する欄を新設しました。ご活用ください。

黒船物見遊山 横浜街ウォークラリー

黒船物見遊山実行委員会

10月26日(日)開催。
スタートは、あざみ野、中山、西谷、杉田。ゴールは戸塚と鶴見。参加地区も市内15区を横断する予定です。お楽しみに。ご協力よろしくお願いします。

私のイチ押し地元店 コンクールの実施

川崎市商店街連合会
お客様に川崎市内の小売店・飲食

店等を推薦してもらい、推薦の多い店舗を表彰するコンクールを今年も実施します。ご協力をよろしくお願いします。
募集期間11月1日～11月30日

マスコットキャラクター決定 三ツ境南口商店街

「ミックル」と決まりました。「三ツ境に来る」「ミラクル」にも掛かっています。これから「家族の笑顔が見える街」のシンボルとして活躍してもらいます。



グリーンカーテン

上町商盛会商店街

横須賀市の地球温暖化やヒートアイランド現象対策の商店街のモデル事例として今年度ゴーヤを植栽しました。緑陰としても景観としても効果が期待され、商店街を訪れる人も成長を楽しみにしています。



神奈川県内の
中小企業の
皆さま！

事業資金の調達を信用保証でサポートします

5万社を超える中小企業が当協会を利用して事業資金を借入しています。

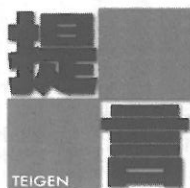
「連帯保証人は原則として法人代表者のみ」とするなど

中小企業の皆さまを強力にバックアップ。お気軽にご相談ください！

神奈川信用保証協会
http://www.cgc-kanagawa.or.jp

業務統括課
TEL 045-681-7118

「公的な保証人」となることが仕事です



ダイバーシティ(多様性)が開く新たな商店街の姿

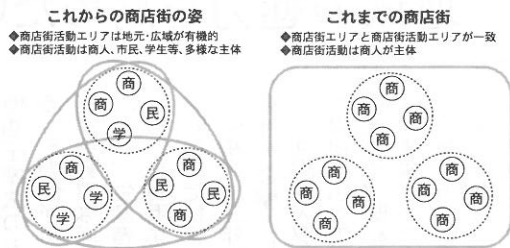
流通研究所 松谷 宏之

商店街におけるダイバーシティとは？

「バイオ・ダイバーシティ(生物学的多様性)」という言葉があります。これは、地球上には多種多様な生物が存在し、その生物たちによって生態系が維持されており、人間を含めた全ての生物の多様性を認識し、共存共生を進めることで地球環境を持続的に維持していきましようという考えです。

これからの商店街について、この「ダイバーシティ(多様性)」という考え方は重要な意味を持つものと考えられます。これまでの商店街は、商店街を担う主体はあくまで商人であり、商店街の範囲は商店が集積したエリアを指し、商店街の範囲と商店街活動の範囲も一致していました。その一方、これからの商店街では、商店街を担う主体は商人、住民、学生等多様な主体が参加し、商店街活動の範囲もこれまでの商店街の範囲を超え、広域的な交流や連携を通して有機的につながっていくことを通して、個店の競争力、商店街としての競争力を高めていくことが必要となると想定されます。

商店街におけるダイバーシティの県内の動き



県内においても商店街におけるダイバーシティ、多様な商店街の姿を具現化している事例も見られるようになってきており、その実例を通して、商店街のダイバーシティの持つ可能性等について説明していきたいと思ひます。

神奈川県商店街連合会では去る七月十七日に「いきいき商店街づくりフォーラム」商店街って何だ！〜これからの商店の輪〜(於 神奈川県民活動サポートセンター)が開催され、これからの商店街について示唆に富む5つの事例発表、パネルディスカッションが行われました。その事例のひとつである平塚あき

んど塾は市全体を大きな商店街と捉え、商店街を越えた商人の交流を行っています。その成果として、単独の商店ではできなかった新たな逸品開発ができたこと、平塚あきんど実践大学という研究会を通して商人としての研鑽ができたこと等が挙げられました。

伊勢原駅前中央商店会は商店街の通りに竜神通りという名前をつけ、認知度の向上を図るとともに、伊勢原から二宮・大磯まで至る広域の地場の食・ものにこだわったイベント(命のリレー)等を開催し、地域の枠を超えた物語をつくり出し、相互に連携しています。

葛川秋の大収穫祭実行委員会は新たに商業集積が進んでいる二宮町一色地区において、商人、大型店、住民等が協力したイベントを開催し、予想以上の反響を得て、継続的に開催されているとのことでした。

商店街ハナノアナは横浜市全域で横浜を愛せる人材で組織化され、イベント参加やカード事業等のほか、市内商店街をめぐるウォークラリーも開催しています。商店街の枠を超えて取り組んだ結果、新たに地元の商店街の良さが見えてきたということです。

相模原市商店街加入促進連絡協議会では市内全域で商店街加入促進の実績を挙げ、地域を巻き込んだ組織

を立ち上げ、積極的に商店街の地域貢献をアピールする取り組みを実践しています。

これら五事例はその活動を進めるに至った理由や発端は異なるものの、これまでの商店街の枠を超えた取り組みであること、商人だけでなく住民等も参加していること、これまでの商店街にはなかった、できなかった取り組み内容であることという共通の特徴を持っており、商店街におけるダイバーシティを実践しているものです。

商店街におけるダイバーシティの実現に向けて

このような取り組みは地元根ざしたものでなく、長続きしないのではないかと等々思われる方もいらっしゃると思います。しかし、このような取り組みを通して、最終的に地元の商店街の活動に還元されたり、商店街のメンバーに刺激を与えたりすることで地元の商店街活動が活性化すると可能性を持つものだと思います。商店街におけるダイバーシティを実行に移すきっかけづくりとしては以下が想定されます。

①若手や意欲のある商人によるあきんどグループの組織化

やる気のある商人を組織化し、先の事例を含め、伊勢原、川崎等で実際に取り組んでいる他のグループとの交流を通して、取り組みの実態やヒントを得ることで、今後の活動についてどのようにすべきかを考えるきっかけづくりとなります。また、他グループとの継続的な交流によるモチベーションの維持も重要なポイントとなります。

県からのお知らせ

県では、商店街に対して空き店舗のアンケート調査を実施します。(回答期限 8月22日) 調査結果は、空き店舗解消のためのマニュアル作成に役立てる予定ですので、お忙しい中、大変恐縮ですがご協力くださいますようお願い申し上げます

●お問い合わせ先

神奈川県 商工労働部 商業観光流通課 小西
☎045-210-5609 (直通)

神奈川県商店街連合会会員のための年金共済

申込時期：平成20年9月～10月24日(平成21年1月加入分)
〈加入1口5千円、最高20口まで〉

10年確定年金給付額等試算表(抜粋)

加入時期	掛金累計(円)	脱退一時金(円)	基本年金額(円)
5年	600,000	約 599,560	約 (5,250)
10年	1,200,000	約 1,233,560	約 10,810
15年	1,800,000	約 1,904,200	約 16,680
20年	2,400,000	約 2,613,660	約 22,900
25年	3,000,000	約 3,364,300	約 29,470

上の表は、「神奈川財団年金共済規程」にもとづく給付であり、積立金に付利する予定利率は1.25%として計算した額ですが、今後、変動(増減)することがあります。したがって将来のお支払額を約束するものではありません。

長期加入されるほど有利な制度です。

ライフスタイルに応じて、ゆとりある老後の備えや貯蓄(教育・結婚・住宅・事業資金)としてご活用ください。

お問い合わせは…

神奈川県中小企業振興財団
横浜市神奈川区鶴屋町2-25-2(三井生命ビル)
事務局 ☎045-312-5186

県商連 推せん会社

商店街の活性化をお手伝いします！

- パルティ・記念品 (株)アイエンス 0463-82-7511
- ディスプレイ・看板 (株)五光 小田原店 0465-24-1255
- 街路灯 (株)サンライト中央 045-332-5301
- アーケード (株)日米アートム 03-3260-5131
- 街路灯 日本街路灯製造(株) 03-3471-6842
- 防犯カメラ (株)日立ビルシステム横浜支社 045-651-2712
- 印刷 (株)ポートサイド印刷 045-776-2671
- 道路整備 前田道路(株) 03-5487-0031

(50音順)